

Field Report

PMTC後のキレイな状態を維持する
セルフケアに適した音波式電動歯ブラシ

長崎県佐世保市 医療法人継心会 山本歯科医院
院長
山本 邦雄



歯科衛生士
山本 ゆかり

＜山本邦雄 院長＞

当院では、う蝕や歯周病に対する様々な予防的取り組みを行っていますが、私はまず「患者さん自身が自分のお口の中の状態に気づいてもらう」ことが重要だと考えています。その気づきがないと、いくら私たちが丁寧に指導しても行動にはつながりませんし、質の高い治療を提供しても長期的に良好な予後を得ることは難しくなります。「どうしてう蝕になったのか、せっかく治療しても再発するのはなぜなのか」を患者さんの口腔内の状態と照らし合わせながら一緒に考えていくことで、医院に任せきりにするのではなく、「自分の歯や

健康は自分で守る」という意識を持ってもらうようにしています。

そうした取り組みにおいて、歯科衛生士の役割はとても大事です。患者さんとコミュニケーションをとりながら、悪い原因がどこにあるのか、生活状況などを伺っていきます。距離感の取り方は人それぞれで難しいものがありますが、そうしたデリケートな部分もスタッフたちがうまく対応してくれているので助かっています。

「来院する患者さんをすべて予防（メンテナンス）のルールにのせていくこと」を現在の目標にしているのですが、そのためには患者さん自身で行うセル

フケアが欠かせません。そこでソニックケアのような手軽で清掃能力の高い電動歯ブラシが必要になります。当院では歯科衛生士を担当制にしているので、セルフケアグッズを薦めるのは患者さんのことを最も把握している担当歯科衛生士がメインになります。彼女たちがしっかりコミュニケーションを取ってくれることで、患者さんの些細な変化にも気づき、必要なタイミングで最適なツールやアドバイスを提供できていると感じています。

健康長寿を全うするためには、心身の健康を考えることは言うまでもありませんし、私たち歯科医師も口腔だけ



症例1-1 下顎舌側部分にステインが付着。



症例1-2 『エアフローハンディ 3.0 Plus』にてステイン除去、その後PMTCを行う。



症例1-3 本来の自然な白さを保つため、ブラシは『プレミアムホワイト』、歯磨材は『プリリアントモア』（ライオン歯科材）を併用。



症例2-1 初診時。T1T1の歯石付着が気になるとの主訴で来院。



症例2-2 審美的な関心も高いため、ブラシは『ホワイトプラス』を選択し、歯間部に毛先が入り込むようブラシの当て方を指導。



症例2-3 ③の叢生部分もブラシの先端を使って、縦方向に当てて歯列にフィットさせる。

でなく、全身の状態に注視していく必要性を実感しています。医療は日進月歩、培った知識と技術を惜しまず患者さんに還元するため、日々の自己研鑽に努めていきたいと考えています。

<山本ゆかり 歯科衛生士>

予防を行ううえで大事なことは、患者さんのセルフケアのモチベーションを低下させないための工夫や、全身疾患の把握、歯周組織のささいな変化に気づくことです。その中で口腔内の状況に合わせたセルフケアグッズをお勧めし、お口の健康から全身の健康を守っていくことが私たち歯科衛生士の役目だと考えています。

ソニックアーは主にチェアサイドでお勧めすることが多いです。定期的メンテナンスに来てくださる方は、口の中の状態も把握できていますから、例えば、ある患者さんの場合「今日はいつもよりお口の中が汚れてるな。何かあったのかな?」と感じて、お話を伺ったところ、急に体調を崩されて入院し歯磨きがうまくできていなかったことが分かりました。そこで、セルフケア

の負担を減らすためソニックアーをお勧めしたところ大変喜んでいただきました。

さらに、最近感じることなのですが、歯の表面にしっかりステインが付いている方の場合、セルフケアではなかなかキレイには落ちません。ですから、当院でPMTCを行った後に、「このキレイな状態を維持するために、ご自宅でソニックアーをいかがですか。ブラシにはステイン除去の効果が高い『プレミアムホワイト』や『ホワイトプラス』がおすすめです」とご案内してみようかと思案中です。さらにPMTCの仕上げに行う歯ぐきのケアに『プレミアムガムケア』や『センシティブ』などのやわらかいブラシを使って弱モードでマッサージすると、ソニックアーの微振動が心地良いので、それも試してみたいですね。歯ぐきをマッサージすること



で、唾液量が多くなる効果もあるので高齢の方にもお勧めです。

ソニックアーの場合、動かし方というより“ブラシの当て方”がとても大事だと思いますので、初めて使っていた際には最初に必ず当て方の指導を行うようにしています。

“お口の健康が全身管理にもつながる”と今盛んに言われていますが、患者さんと接する機会の多い歯科衛生士の役割は、今後ますます重要になってくると感じています。そのことを常に忘れず、日々患者さんと向き合っていきたいと思っています。



症例3-1 7]を治療中。たとえ1歯だけの治療であっても、口腔内の細菌数は治療の予後に関わる。治療前のプロービングデプスは5mm。



症例3-2 患歯へのアプローチ。コンパクトな『ホワイトプラス』ブラシをタフトブラシのように使用。



症例3-3 7] 頬側根岐部のプロービングデプスは3mmまで回復。ソニックアーはブラシのバリエーションが豊富で、口腔内の状況に応じてブラシを選択し処方できるのがメリット。



症例3-4 状況に応じたブラシ選択例①。ヘッドが大きめで広い範囲を効果的に磨ける『プレミアムクリーン』は全体的なブラッシングに使用。



症例3-5 状況に応じたブラシ選択例②。歯肉が腫れていたたり知覚過敏の症状がある場合には『センシティブ』ブラシを使用。



症例3-6 状況に応じたブラシ選択例③。メンテナンス時や歯周治療後に、歯肉のケアを行う際には『プレミアムガムケア』ブラシを使用。